

三木山森林公園の指定管理者候補者の選定について

兵庫県立三木山森林公園について、令和3年7月27日より指定管理者を公募していましたが、下記のとおり候補者を選定しました。今後、兵庫県議会での議決を得て、知事が指定する予定です。

記

1 募集概要

- (1) 募集期間 令和3年7月27日～9月30日
- (2) 応募者 公益社団法人ひょうご農林機構（神戸市中央区）1者

2 選定された指定管理者候補者

- (1) 候補者名 : 公益社団法人ひょうご農林機構
- (2) 所在地 : 神戸市中央区下山手通5丁目7番18号
- (3) 代表者名 : 理事長 新岡 史朗

3 候補者の選定理由

【基本理念】

- ・公益社団法人ひょうご農林機構は、平成5年の開園以来28年間、長期的視点に立った多様な里山林の整備、生物多様性の保全・再生活動等に取り組んできた実績があり、三木山森林公園の基本理念、基本方針に定める森づくり、「人と森との共生」の意味を理解しているといえる。また、今後は森林公園において、SDGsへの取組として「4質の高い教育をみんなに」、「11住み続けられるまちづくりを」、「15陸の豊かさを守ろう」の開発目標に基づく管理運営を行うと宣言しているほか、災害に強い森づくりなど、新たな課題に向けて取り組んでいく意欲があることは、評価できる。

【森林環境教育】

- ・公園のもつ自然博物館的な機能を活かし、「小学校3年生の環境体験事業」の継続実施とともに、家族連れの来園者向けに自然観察イベントの内容の充実や、QRコードによる説明付き樹名板整備の充実を図るという提案については評価できる。
今後も、三木山サポーター等森林ボランティアと協力し、さらなる取組の発展に期待したい。

【情報発信の充実】

- ・SNSの活用や園内のみどころが分かるような工夫、他公園や研究機関との連携等が提案されており、公園利用者だけでなく外部に対しても公園の取組や成果をPRしていく意欲があることは、評価できる。また、SNSの活用においては、来園者とのよりよいコミュニケーションにつながることも期待したい。

【利用促進方策】

- ・コロナの影響により先が見通せない中、森林公園の強みである自然を活かした森づくり、自然観察イベントに取り組むほか、様々な利用者のニーズを踏まえて、音楽等文化活動、防災イベント等多様なイベントが計画されていることは評価できる。

【森林管理】

- ・低木林管理として進めている「コバノミツバツツジ群落」を三木市初の市指定天然記念物に申請を行なうという提案については、それが公園のシンボルとなり、公園のグレードアップにもつながること、さらに兵庫県の防災林整備のモデルとなることから、高く評価できる。

【日常の安全管理】

- ・「兵庫県立三木山森林公園新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を整備し、感染症拡大防止対策等への配慮があることは評価できる。

4 指定管理期間（予定） 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）

5 選定方法

(1) 応募資格の確認

応募者が、応募要件を満たしていることを事務局において確認した。

(2) 選定委員会における審査

応募者から提案された事業計画の内容について、各委員が書面審査、ヒアリング審査を行い、候補者を選定した。

① 書面審査 事業計画の内容を項目ごとに審査した。

② ヒアリング審査 事業計画の実現性等を審査し、指定管理者候補者を選定した。

【審査結果】

審査項目（配点）	得点
管理運営方針 (5点)	3.46
維持管理方針 (20点)	12.12
サービスの向上 (30点)	19.2
効率的な管理運営（指定管理料） (30点)	24.0
経営能力 (5点)	4.0
管理運営体制 (10点)	6.8
森林公園の森づくり、生物多様性の保全に関する具体的提案 （次期森林施業計画に関する提案を含む） (10点)	6.2
森林環境教育の推進に関する具体的提案 (10点)	7.4
情報発信の充実に関する具体的提案 (20点)	14.8
その他新たな提案 (10点)	4.4
合 計 (150点)	102.38

(3) 候補者の選定

選定委員会から審査結果の報告を受け、県農政環境部において指定管理者候補者の優先交渉権者を決定した。

6 県立三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会

氏 名	役 職	備 考
服部 保	兵庫県立大学名誉教授	委員長
宇田 名保美	ADU株式会社代表取締役	
岩木 啓子	ライフデザイン研究所FLAP代表	
西 栄一	神戸新聞社地域総研副所長	
塩谷 嘉宏	農政環境部森林参事	